



議会HPへアクセスします

# ガレの木

第27号

## みんなの笑顔



第1回かがみの小中学生チャレンジマラソン

### ヘッドライン・ニュース

- ◆12月会議のお知らせ ..... ②～③
- ◆常任委員会報告 ..... ④～⑤
- ◆行政視察研修報告 ..... ⑥～⑦
- ◆市民と議会との意見交換会 ..... ⑧
- ◆令和6年度決算 提言 ..... ⑨
- ◆町政を問う 一般質問 ..... ⑩～⑯
- ◆ようやりようるなあ～・議会用語・  
かがみ君の日記・編集後記 ..... ⑯



o-yurin



mizuirin

# 12月会議で決まりました

注目

令和7年12月3日～23日まで、12月会議が開催され、令和7年度一般会計補正予算（第5号）1億7340万円増額など、17件の議案が全会一致で可決されました。

## 児童福祉

物価高対応子育て応援手当事業費

**3,680万円**

物価高の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯の支援。平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生した児童など1人当たり2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給する。



## 障がい者福祉

移動支援事業費

**58万円**

屋外での移動が困難な障がいのある人について、外出のための支援を行う事業。  
前年度実績に基づく当初見込みに対して、不足が見込まれる額の補正。

## 農業振興

スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業

**400万円**

農業者の高齢化・減少が進む中において、労働生産性の高い農業構造への転換に向けて、農業支援サービス事業者の育成や活動の促進、スマート農業技術の現場導入とその効果を高める栽培体系への抜本的な転換等の取組を総合的に支援。（スマート農業機械等導入の申請内示があったため。）  
国庫補助率1／2・上限3千万円

## 条例の制定・一部改正・廃止

- 児童福祉法の一部改正等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 鏡野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 鏡野町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
- 鏡野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- 鏡野町議会議員及び鏡野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
- 鏡野町職員の給与に関する条例の一部改正
- 鏡野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 鏡野町手数料徴収条例の一部改正
- 鏡野町水道事業給水条例の一部改正
- 鏡野町下水道条例の一部改正
- 鏡野町基幹集落センター条例の廃止
- 岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更
- 岡山県市町村税整理組合規約の変更



# 鏡野町国民健康保険病院整備事業の計画見直し

## 1.これまでの経緯

現状の病院の老朽化の進行、自然災害への対策（浸水想定区域内に立地）、新興感染症の感染拡大時に備える整備が必要といったことから、基本計画に沿って新病院の建設（新築・移転）を進めてきた。建設工事については、ECI方式（建設コスト縮減、工程の遵守を目的とし、施工予定者の施工技術などを取り入れる発注方式）を採用し建設コストの削減に努めてきた。

## 2.概算工事費の現状

### ①ECI方式の効果

実施設計期間中において、ECI方式により、発注者、発注者支援業務受託者、施工予定者、設計業務受託者の4者にて協議を重ねVE・CDにより、建設費を削減。

※VE：機能や品質を維持しつつコスト削減する手法

※CD：性能や仕様を下げることで、コストを削減する手法

### ②物価上昇を反映した精概算見積金額

合意金額52億円（令和7年1月基本協定締結）以下を目指し、協議を重ねたが、建設環境の変化により生じた想定以上の資材費及び労働費の高騰（令和6年10月～令和7年9月 約10.7%物価上昇）により合意金額を大幅に上回った。

### ③今後について

今後も施工予定者によると令和8年4月の着工予定時点でさらに5%程度の物価上昇の可能性がある。

しかし、既存病院の老朽化、浸水想定区域内立地、へき地医療拠点病院・救急告示病院としての役割、町内開業医の高齢化・後継難から、新築・移転を取りやめる考えはない。

病床・機能の見直しをはかり、町財政が耐えうる額に抑えることを必須条件とし、設計を見直し、適正な病床規模や構造変更など建設事業費を削減するための方法を検討し早期の開院を目指す。

## 現計画

- ・病床数……………70床
- ・構造……………RC造 3階（免震構造）
- ・延べ面積……………5,755平方メートル
- ・建設工事着工……………令和8年4月
- ・開院時期……………令和10年5月



# 常任委員会報告

## 総務産業常任委員会

### ◆鏡野町水道事業給水条例の一部改正

### ◆鏡野町下水道条例の一部改正

○能登半島地震の教訓を踏まえ、国からの助言を受け災害対応力強化を目的とする。

大規模災害時には、多数の家屋が被災し宅内給水・排水設備にも大きな被害が生じるだけでなく、地元業者自身も被災する可能性があるため、他市町村の指定業者による応援復旧作業を可能とする仕組みを整えるもの。

町内の水道指定業者は現在126業者で、内訳は町内28社、県内93社（県北85社・県南8社）、県外5社となっている。しかし、近年は業者数が減少傾向にあり、5年ごとの更新時に申請を行わない業者が増えていることが課題。

## 文教厚生常任委員会

### ◆児童福祉法の一部改正等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

○虐待を受けた子どもへの対応を強化するための改正

○地域限定保育士制度の一般制度化に伴う改正

○健康診断に関する改正などが行われたことにより、町内の児童福祉に関わる施設・事業所に関する条例も改正する。

### ◆鏡野町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定

○『余裕活用型』として、奥津保育園の1か所で1日当たり1人か2人の利用を見込んで実施する予定。利用時間は1人当たり月10時間を上限とする。本事業は家庭では得られない経験を通じて子どもの育ちを応援することが主な目的。

※余裕活用型

保育所等を利用する児童の数がその施設または事業に係る利用定員の総数に満たない場合において、定員の枠を活用して受入れを行う。

# 予算決算常任委員会

一般会計は1億7340万円を追加し総額で124億6990万円にするなど付託された4議案を審査

- ◇令和7年度 鏡野町一般会計補正予算（第5号）
- ◇令和7年度 鏡野町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- ◇令和7年度 鏡野町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）
- ◇令和7年度 鏡野町介護保険特別会計補正予算（第2号）

## ◆ 予備費 500万円 増額

**Q** 予備費の詳細は。

**A** かがみのマラソン大会参加者は当初800人の想定だったが、ファイナルということで実際の申し込みは1,370人になり、その追加経費140万円。「道の駅奥津温泉」の空調機更新が360万円。



## ◆ 自立支援就労継続支援（B型）給付費 1,150万円 増額

**Q** 給付費について、不足額が1,150万円と非常に大きいが何故か。

**A** 人数ではなく利用日数が増えている。令和6年度の報酬改定で1人当たりの利用量が増えるほど報酬が高くなるような改定がされたことと、人件費等の高騰でそれに合わせた報酬改定がされたことが要因。

## ◆ 鶴喜保育園経常管理費 68万円 増額

**Q** 経常管理費の内訳は。

**A** 新園舎で使用するガス、水道および電気代46万8000円、さらに旧園舎からのピアノ移設費・調律代など。



## ◆ 農地集積集約化事業 347万円 増額

**Q** どのような事業で、集積された面積、該当する認定農業者の数は。

**A** 規模の拡大を目指す認定農業者へ農地の利用集積を図るために、農地の権利の移動に対して、その面積に応じた補助金を交付する事業。今年度の集積面積は900アール、今回の認定農業者の助成対象は11経営体となっている。



\*委員長所感

### 各種補助金、誰でも情報が入手できるように

議員間の討議では、各種補助金に関して、内容や申請について、もっと町民に説明を行うべきであり誰でも情報が入手できるようにするべきとの意見が出された。執行部にはこうした補助金などの情報をしっかりと周知するようお願いした。

# 鏡野の未来に活かす！行政視察

## 令和7年度 総務産業常任委員会 行政視察研修報告

参加者：委員長・難波達男／副委員長・鈴木大介／委員・仲西祐一、片田八重美、竹下桂輔、小椋明美

総務産業常任委員会では、将来の人口減少や防災対策など、本町が直面する重要課題への施策検討を目的として、先進的な取組を行っている自治体を訪問し、行政視察研修を実施しました。

### ●11月4日 横瀬町（埼玉県秩父郡）

#### 「日本一チャレンジする町の取組」

横瀬町では、将来的な人口減少を見据え、「チャレンジ」を合言葉に町全体で官民連携の取組を進めています。その中心となるのが、外部から人・モノ・情報を呼び込み、地域の活性化を図る官民連携プラットフォーム「よこらぼ」です。

#### 横瀬町が挑戦を重視する理由

- ① 町の未来を変えるため
- ② 試行錯誤を重ねる必要性
- ③ 挑戦が新たな挑戦を呼ぶ好循環を生むこと

また、地域交流拠点「エリア898」を活用した多世代交流や、「日本一歩きたくなる町プロジェクト」による健康づくりと観光誘客の両立など、小規模自治体ならではのスピード感ある施策が展開されていました。低コストで効果的な住民参加型の取組は、地方創生の先進事例として大いに参考となるものでした。



### ●11月5日 常総市（茨城県）

#### 「防災体制の整備と災害対応」

常総市は、平成27年9月の豪雨により鬼怒川の堤防が決壊し、市域の約3分の1が浸水する甚大な被害を受けた自治体です。この経験を踏まえ、現在は住民主体の避難行動計画を全国に先駆けて推進しています。

9月10日を「常総市防災の日」と定め、小中学校において多言語対応の「逃げキッド」によるマイ・タイムラインの作成や防災マップづくりなどの一斉防災教育を実施している点が特徴です。実践的な防災教育を継続することで、市全体の防災力向上につなげています。



★ 逃げキッドの使い方やタイムラインの考え方を解説した、「逃げキッド使い方ガイド」という動画も配信しています。下記のQRコードからご覧ください。



Youtube  
逃げキッド使い方ガイド





動画を見ながら  
自分でマイ・タイムラインを作れるのね！

（国土交通省 関東地方整備局下館河川事務所より引用）

今回の視察では、人口減少対策と防災対策という本町にとって重要な課題について、多くの示唆を得ることができました。得られた知見を今後の政策立案および施策推進に活かしていきたいと思います。

# 鏡野の未来に活かす！行政視察

## 令和7年度 文教厚生常任委員会 行政視察研修報告

参加者：委員長・藤田照子／副委員長・植木 卓／委員・長石幸男、牧田俊一、光吉 準／議長・原 章倫

### ●11月6日 邑南町（島根県）

#### 「公立邑智病院」

鏡野病院の新築・移転に伴い、同規模の自治体病院の経営状況を視察研修してきました。

公立邑智病院は、邑智郡にある3つの町が共同で運営する病院で、郡内唯一の急性期・救急告示病院として昭和58年に開院。令和6年9月同じ敷地内に新本館棟を竣工。視察時は表玄関と駐車場の整備中でした。

総合調整室長・地域連携室長兼務の日高副院长より総務省に提出している鏡野病院の資料と邑智病院との経営状況などを比較しての丁寧な分析と説明を聴きました。リハビリができる屋上、感染予防のための発熱外来、手術室、病室、運搬用のロボット、総合診療科、各診察室など院内を見学しました。



#### 邑智病院の特色

- ①事務部門の強化
- ②全員参加型の病院経営
- ③デジタル技術

- ①医療クラーク（医師の事務作業を手伝う）を含めると30人。多職種連携で事務員がマネジメント。働きやすい職場にしている。医師が患者に向き合えるようにしている。
- ②各人が節約できることは節約し、必要なことは大胆に提案。
- ③建て替えに合わせて医療DXを可能な限り導入。問診もAIが担当。電子カルテにコピーされる。外来の空いている時間情報もあり、待ち時間が少なくて済む。

### ●11月7日 北栄町（鳥取県）

#### 「包括的支援体制整備の取組」

令和2年に改正された社会福祉法で重層的支援体制整備事業が創設。令和3年4月から施行されました。北栄町では全国に先駆けて、平成30年度から包括的支援体制の整備に向けて取り組んできた事業を活用しながら重層的支援体制整備計画（令和4年～令和6年）に取り組まれ、現在（令和7年～令和11年）の事業計画にそって進められています。鏡野町より人口・世帯数が多い町ですが、全戸訪問を終え、実情を把握。合併前の2つの地区（33と30）の63自治会が細かな支え合い活動を進めています。

※重層的支援体制整備事業：地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う。

# 鏡野町議会

## 第12回 町民と議会との意見交換会

令和7年8月22日、鏡野町新規就農者・集落営農組織・農業法人17名の皆さんとの意見交換会を行いました。

- ① 農業経営の現状・農地の管理・利用状況は
- ② 経営面での課題と販路開拓や販売促進はどうか
- ③ 有害鳥獣被害対策の現状と要望は
- ④ 行政支援制度の活用状況と改善要望は
- ⑤ 地域農業の将来展望・課題認識はどうか
- ⑥ その他の意見は

今回の  
テーマは

新規農業希望者や農業従事者を対象に、町でモデルとする田畠を提供し参考になるような取組をしてもらいたい。

提言書に載らなかった要望意見

機械のメンテナンス、更新等に対して、国・県・町の補助制度の情報は誰でもわかりやすく入手できるように情報発信をしてもらいたい。

申請手続きについても容易にできるよう改善してほしい。

集落内での機械の共同使用ができないものか。



新規就農者を育成する農業指導を更に強化してもらいたい。



小規模農業の現実は厳しい。  
農業機械導入の支援がほしい。

ヌートリア駆除の方法、  
対策など教えてもらいたい。



意見交換会でいただいた貴重なご意見をもとに、  
令和7年10月鏡野町議会政策提言書にまとめています。

# 令和6年度決算認定における附帯意見について

## 鏡野町議会予算決算常任委員会

本委員会は、令和6年度決算認定に係る審査において、下記のとおり附帯意見を提出しました。

項目・テーマ	委員会としての意見・要望等
まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バス運行対策、バス系統維持に関しては、利用者の満足度が毎年低下しており、調査研究を行い、改善に努めること。</li> </ul>
くらし安全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防災組織活動支援については、毎年活動実態調査を行い、活動の活性化につなげること。</li> </ul>
子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●理学支援事業については、インソール作成などの作業は外注等を利用し、理学療法士の負担軽減を図ること。また、理学療法士の増員により、個々の園児・児童・保護者にかかる時間が増えるよう努めること。</li> <li>●子育て世帯訪問支援事業については、ヤングケアラーのいる家庭への周知の工夫が見られないので、周知方法を改善すること。</li> <li>●病児一時預かり事業については、子育て支援課と国保病院との連携を早急に図ること。次年度から国保病院の保育士確保に向けた活動状況を報告すること。</li> <li>●チャイルドシート着用推進補助金については、社会福祉協議会が行っているリサイクル事業についてもPR活動を行うこと。</li> </ul>
産業観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産業まつり開催事業費については、熱中症対策に積極的に取り組むこと。また、マスカットビオレなどの収穫時期の遅い品種に変更している状況などを踏まえ、開催時期の見直しを検討すること。</li> <li>●特用林産物生産事業については、森林組合への委託を取りやめる方針だが、今後しっかり協議して、鏡野町の特産品として原木なめこ等の生産を維持していくこと。</li> </ul>
生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かがみのマラソン大会が廃止されるが、今後も「健康の町かがみの」を掲げるのであれば、生涯スポーツに触れる機会を作るよう検討すること。</li> </ul>
国保病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国民健康保険病院事業会計の当年度純利益が平成30年度から7年連続して損失計上となっている。持続可能な地域医療体制維持のため、今後の経営戦略の見直しと新経営方針を示すこと。</li> </ul>
健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん検診等事業費については、この検診で発見されたがん患者の人数を公表するなど、特に若い世代への広報・周知方法を改善すること。</li> </ul>
全体共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実効性のあるPDCA体制を確立するために、新しい事務事業マネジメントシートの作成に当たっては、検討及び研修をしっかりと重ね、議会との意見交換の場を設けること。</li> </ul>

# 町政を問う ～一般質問～

一般質問とは、議員が

町の行政全般にわたつ

て執行機関に対し疑問

点を質し、所信の表明

を求めるものである。

ページ	議員名	質問内容
11	鈴木 大介	①クマ対策について ○鏡野町のカスハラ対策の基本方針について
11	花房 尚	○子育て支援の充実 ○高齢者福祉 ○行財政改革の推進 ①小学校・中学校の給食無償化 ○事業の見直し・廃止
12	難波 達男	①政策実現に向けての取組は ○物価高騰対応重点支援地方交付金の取組について
12	藤田 照子	○鏡野病院の必要性 ①経営難を乗り越えるために ○他の医療機関・介護施設等との連携
13	光吉 準	①第3次総合計画を住民と共につくる ○第3次総合計画「政策」に関して ○行財政改革について ○クマ対策について
13	片田八重美	①トップリーダーとして牽引する鏡野町の政策とは
14	牧田 俊一	①生活環境に必要なインフラストラクチャーの維持・整備環境について
14	小椋 明美	①住民のまちづくりの推進
15	植木 卓	①鏡野病院について
15	竹下 桂輔	○防災対策の推進 ①株式会社夢アグリ鏡野の今後の運営等について
※	仲西 祐一	○イベント等の現状と将来の方向性について ○財政状況について

※仲西議員のページは議員本人の都合で掲載していません。

議会だよりには、1問のみ掲載しています。○印のものは掲載していません。



## 狩猟免許を持っている町職員は何名いるか



銃を扱える、狩猟免許を持つている者が3名いる

答弁

一問一答方式



鈴木 大介 [すずき だいすけ] 議員

問 町長

目撃件数は。

直近5年間の鏡  
野町内でのクマの  
目撃件数、人身被害の  
件数は。

目撃件数は令和  
2年度8件、令和3年  
度4件、令和4年度5  
件、令和5年度2件、  
令和6年度10件、令和  
7年度は11月末時点で、  
3件。人身被害につい  
は、同期間では0件。

問 町長

クマを市街地に  
呼び寄せない対策  
としてゾーニングが有  
効とされているが、現  
状の取組と今後の方針  
は。



町のホームページ  
ジでクマ対策について  
の注意喚起や、リーフ

問 学校教育課長

国が発表したク  
マ被害対策パッケ  
ージでは、強固な柵の  
設置等の交付金支援も  
含まれているようだが  
鶴喜小学校の里山のク  
マ対策の今後の方針は。

町の対策については、産  
業観光課をはじめ関係  
機関、専門機関の指導、  
助言も含め、何らかの  
対策を検討したい。

レットによる周知を行  
っている。今後は、広  
報紙での注意喚起及び  
リーフレット等を活用  
したソフト事業の強化  
を行うとともに、持続  
可能なハード対策を研  
究し、総合的なクマ対  
策を推進する。

問 町長

令和7年6月議  
会でも答弁したとおり  
国や県からの恒常的に  
十分な財政支援が、担  
保できることを前提に  
考えており、今後も國  
の動向を踏まえて、慎  
重に検討していく。

問 町長

令和7年6月議  
会でも答弁したとおり  
国や県からの恒常的に  
十分な財政支援が、担  
保できることを前提に  
考えており、今後も國  
の動向を踏まえて、慎  
重に検討していく。



## 小学校の給食費無償化が実現可能となったら、町はどう考えるか



国の動向を踏まえて、  
慎重に検討していく

答弁

一問一答方式



花房 尚 [はなぶさ ひさし] 議員

問 民・維新・公明

国会の3党（自  
民・維新・公明）  
で検討・協議している  
小学校の給食費無償化  
が、2026年4月か  
ら実現可能になった場  
合、町として実施する  
考えはあるか。



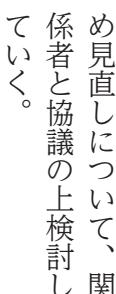
問 町長

中学校の給食無  
償化も、自主財源  
で同時に実施する考  
えはあるか。

町の対策については、産  
業観光課をはじめ関係  
機関、専門機関の指導、  
助言も含め、何らかの  
対策を検討したい。

問 教育長

この事業は、旧  
鏡野町で、平成7年か  
ら始まったものである  
が、社会情勢の変化な  
どにより、本事業を進  
めるにあたり、現行の  
手法では課題があると  
感じている。今後どう  
していくか、廃止も含  
め見直しについて、関  
係者と協議の上検討し



中学校について  
も、国や県からの恒常  
的に十分な財政支援が  
担保できることが、給  
食費無償  
化の前提  
となる。

問 教育長

この事業は、旧  
鏡野町で、平成7年か  
ら始まったものである  
が、社会情勢の変化な  
どにより、本事業を進  
めるにあたり、現行の  
手法では課題があると  
感じている。今後どう  
していくか、廃止も含  
め見直しについて、関  
係者と協議の上検討し





## 健康づくりの推進施策は



スポーツや子育て施策と連携し  
推進していく



一問一答方式



難波 達男 [なんば たつお] 議員

町長  
令和7年度の健  
康づくりは「検診受診  
率向上」「健やかな心  
身作りの推進」「ここ  
の健康に関する相談  
業務」「睡眠休養の重  
要性についての普及啓  
発」「他施策との連携」  
が政策実現に向けての  
取組である。

町長  
特定検診受診率  
は目標値に近い水準を  
維持している。生活習  
慣病の早期発見・早期  
治療につなげるために、  
受診勧奨や啓発で発症  
予防・重症化予防に取  
り組んでいる。健やか  
な心身作りの推進は、  
かがみの健康ポイント  
事業で、目標を達成し  
ている。健康チャレン  
ジ90日は目標人數1,

町長  
現在までの目標  
達成は。

特定検診受診率  
は目標値に近い水準を  
維持している。生活習  
慣病の早期発見・早期  
治療につなげるために、  
受診勧奨や啓発で発症  
予防・重症化予防に取  
り組んでいる。健やか  
な心身作りの推進は、  
かがみの健康ポイント  
事業で、目標を達成し  
ている。健康チャレン  
ジ90日は目標人數1,



町長  
令和7年度の健  
康づくりは「検診受診  
率向上」「健やかな心  
身作りの推進」「ここ  
の健康に関する相談  
業務」「睡眠休養の重  
要性についての普及啓  
発」「他施策との連携」  
が政策実現に向けての  
取組である。

町長  
特定検診受診率  
は目標値に近い水準を  
維持している。生活習  
慣病の早期発見・早期  
治療につなげるために、  
受診勧奨や啓発で発症  
予防・重症化予防に取  
り組んでいる。健やか  
な心身作りの推進は、  
かがみの健康ポイント  
事業で、目標を達成し  
ている。健康チャレン  
ジ90日は目標人數1,



藤田 照子 [ふじた てるこ] 議員



## 経営難を乗り越えるために



経営改善のためには、経費節減に向けた  
取組や病床稼働率の向上が必要である



一問一答方式



町長  
本理念（基  
本理念）の実現を進め  
ていく。

町長  
かかりつけ医としての  
機能と「心のかよつた  
最良の医療提供」（基  
本理念）の実現を進め  
ていく。

町長  
職員の対応につ  
いては年1回以上の接  
遇研修、設備面では和  
式トイレから洋式トイ  
レへ、キャッシュレス  
決済の導入、玄関先の  
段差の解消等改善した。



町長  
電子カルテとの  
連動が難しく現時点での  
導入を断念した。他の  
病院の実例等を研究  
し、検討したい。

町長  
病床の稼働率を  
上げることは可能  
か。

町長  
受診の待ち時間  
短縮のため、スマ  
ホ機能で利便性を向上  
させては。



## 総合計画審議会開催のお知らせもなく 傍聴できなかつたがその理由は



**第4回の審議会で傍聴規定を定め、  
次回第5回から傍聴できる**



一問一答方式



光吉 準[みつよし ひとし] 議員



総合計画の基本構想を決めるのは  
議会だが、その後に総合計画としてまとめて

握っていない。  
第1回行財政改  
革審議会で「委員



中心部から離れた地域をどのように  
見て来たか。

いく作業をやるのはこの審議会だ。総合計画に関する議論は原則、全て公開といふことを確認してもらいたい。

この部分も致し方ないところはあつたと思うが、今後は公開する。

最上位の計画と  
いうことで本来であつたら公開すべきだった。

この提案が実現し、どの提案が提案のまで終わっているか、それが意見があつた」と議事録にあるが、町の側からどういう考え方述べたのか。



総合計画審議会メンバーの男女のバランス、年齢のバランスはどうなつてゐるか。

次回の審議会でお答えする旨を回答している。しかしながら、第2回行財政審議会では資料が作成できてしまつて、回答については

職員時代に見ていた町の風景と町長として見る風景は大きく違う。町に山積する多くの課題も見えてきた。首長交代のタイミングを契機に、予算執行状況を検証し、公共施設のあり方など精査し、財政の健全化を目指す上で、幸福感を実感できる「まちづくり」が必要だと考えている。



## 就任後の締め付け政策に不満の声を どのように捉えているか



**説明不足を真摯に受け止め  
わかりやすく説明したい**



一問一答方式

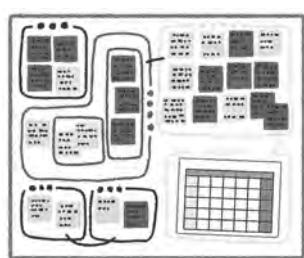


片田 八重美[かたた やえみ] 議員



就任して8ヶ月。  
た地域をどのように見て来たか。

急激に各イベントを廃止し、町民カレンダーまで廃止する理由は。



それらを含めて、地域で疑問の声が広がっている。もっとメディアを活用して欲しい。

イベント等の廃止は苦渋の選択であり、単発的なイベントに頼らず、まちの魅力ある地域資源を、デジタル技術を活用して常時発信させ、関係人口・交流人口の拡大を図り、稼ぐ観光を目指すなど、地域が潤う仕組みづくりを検討する。

たい。  
町長  
真摯に受け止め

られない。  
町民に声が届いていない。だから、各地域で情報が広がっている。もっとメディアを集めメディア対応する窓口の一本化を目指さ



## 質問 情報通信施設設備の維持と今後の取組は



**令和9年度から事業の方向性等の協議を開始する**

答弁

一問一答方式



牧田 俊一 [まさた としかず] 議員

問

光ファイバーを利用している音声告知放送、高速インターネット、地上デジタル放送に関する情報通信施設整備の取組予定は。

答 町長

現在、指定管理者に委託している契約が令和11年度末までとなっている。令和9年度からコスト削減を含めた事業継続の方向性の協議をおこなう。

問 令和11年度以降、事業運営として、現在の指定管理者との継続、新規管理者との契約、事業者と町の共同運営が考えられるが、今後の協議内容はどうになるか。

答 くらし安全課長  
財政規模や人口減少等についても検討し、事業の縮小やサービスの見直しについても検討協議をしていく。



問

指定管理者が契約途中に撤退するとなつた場合、町の体制はどうのようになつているか。

答 くらし安全課長

撤退は考えられないが、現在の指定管理については5社による特別目的会社で運営している。例えば、そのうち1社が倒産しても残り4社で運営していくことになる。

問 現在の指定管理者の評価は。

答 くらし安全課長  
管理評価結果はB（良好）である。協定等の水準を満たしている。



## 鏡野町地域づくり協議会の活動について



**総額1億3000万円の基金を原資として活動している**

答弁

一問一答方式



小椋 明美 [おぐら あけみ] 議員

問

鏡野町地域づくり協議会は何団体か。

答 町長

公民館単位として12の地区で設立している。



問

協議会へ未来・希望基金はどのような算定基準で予算配分されるか。

答 町長

令和7年度から5年間を計画期間として開始しており、第4期末来・希望基金事業

は、基本の1億円と健康のむらづくり事業及び美しい町づくり事業の3000万円を加えた総額1億3000万円の基金を原資として地域づくり協議会に配分するものである。

問 各協議会への予算分配分の算定基準は。

答 町長  
1団体につき基本額を340万円とし、一人につき4260円を人口割として加算し

問

交付金決定は、審査委員会で審査されるが、委員の構成は。

答 まちづくり課長

規則において、地域の代表者、その他町長が必要と認めた者の7名で構成している。役職については、区長会から2名、愛育委員、民生児童委員、社会教育委員、一般社団法人、NPO法人から各1名が参加している。

問

交付金決定は、審査委員会で審査されるが、委員の構成は。

問 組状況は。

答 まちづくり課長  
12協議会で109事業に取り組んでい

る。

問 今後の活動の課題は。

答 まちづくり課長  
後継者育成や若い世代が事業に関わりやすい工夫と、住民理解の深化や意識醸成に

関しても伴走支援が必要を感じている。



## 新病院建設に向けた 説明会の開催は



植木 卓[うえき たく] 議員



## 広報紙やホームページ等による 情報発信に努める

答允 一括方式

管井

**新病院建設には**医療従事者・職員・スタッフ・町民の声は、どのように反映されているか。

**答 町長** 地域の方を含む「病院在り方検討委員会」を設置し、現状の課題検討、新病院の機能・規模について基本構想を策定している。病院スタッフ等の意見を取り入れ、診察室や各科配置・病棟のレイアウトなどを行つた町民からは、満足度調査での意見を反映している。

**7年連続の損失** 計上となつているが、経営改善のひとつとして、地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業制度を導入する予定は。

**答 町長** 令和6年度決算で大幅なマイナス収支を計上したので、経営・財務マネジメント強化事業制度や地域医



療振興協会のアドバイザーの活用も含めて経営改善を進めていく。病院経営を高める経費と、抑制できる経費抑制には、今後どのように取り組むか。



竹下 桂輔 [たけした けいすけ] 議員



# 夢アグリ鏡野の上齋原地域への 事業拡大について

# 早急に事業展開を実現させたい

一問一答方式

四九

**問** 株式会社夢アグリ 鏡野は令和5年度に3社合併で設立。6年度から農業特化事業を展開し、鏡野・奥津・富の3営業所体制で進めてきたが、上齋原地域への事業拡大が課題である。8年度からの作業受託開始9年度以降の本格展開は。



**答** 産業観光課特命参事  
町・組合・夢アグリで協議を続け、営業所設置や機械整備など課題解決を図る。担い手育成は困難だが、夢アグリが担い手となるよう支援する。

**問** 初期投資には数千万円規模が必要であり、国の交付金制度を活用し財政負担を軽減すべきではあるが、町の考えは。

